

令和5年度 スポーツフェスティバル

今年度、150周年を迎える青木小学校のスポーツフェスティバルは全校児童参加での開催となりました。前日までのPJ活動や団体演技に向けての練習では、全校が心を一つにして取り組んできました。当日の活動でも子どもたちの真剣なまなざし、最後まで粘り強く取り組む姿に、胸を熱くされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。青木の子どもの素晴らしさを改めて感じた一日でした。

スポフェスPJ長

今年は特に「人への応援」が盛り上がっていたなと思います。4年ぶりの全校での開催であることはもちろんですが、整列して開会式、閉会式で前に立つ人のお話を良い姿勢で聞いていたり、徒競走では「がんばれ!」「速いよ!」など、応援の音がどのレースでも飛び交っていたりしました。

自分の出る競技だけでなく、応援も全力だったことが今年のスポフェスの良かった点だと思いました。

赤組応援団長

今年のスポフェスは4年ぶりの全校開催となり、去年や一昨年よりもさらに盛り上がりました。また今年は青木小150周年の年であり、応援団を中心に全校児童で盛り上がりました。

応援団では数少ないプロジェクトの時間を最大限に活かし、さらに中休みにも集まり、本番に向けて準備をしてきました。

全校開催ということで今年は多くの方々に協力をいただいて、私たちは練習の成果を150%発揮することができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

白組応援団長

私にとって150周年のスポーツフェスティバルは、小学校生活最後のスポーツフェスティバルでした。そのスポーツフェスティバルに応援団長として参加しました。応援団長として、たくさん仕事をこなすことが大変だったけれど、どの仕事も一生懸命に取り組むことができました。そしてスポーツフェスティバル当日には、応援団の仲間、そして白組のみんなと心を合わせて白組を応援することに努めました。

来年、再来年のスポーツフェスティバルは、今年よりも盛り上げて楽しんでください。今年度のスポーツフェスティバルは、地域の方、保護者の方に力を貸していただけたからこそできたスポーツフェスティバルです。本当にありがとうございました。